

## 平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 インテージホールディングス  
 コード番号 4326 URL <http://www.intageholdings.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮首 賢治  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 池谷 憲司  
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月14日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 03-5294-7411

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	33,005	3.9	2,809	5.5	2,919	7.7	1,988	22.1
28年3月期第3四半期	31,754	5.4	2,664	3.7	2,711	7.1	1,628	△43.9

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 1,941百万円 (16.5%) 28年3月期第3四半期 1,667百万円 (△45.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	99.58	—
28年3月期第3四半期	81.56	—

(注) 1株当たり四半期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に、役員向け株式給付信託として保有する当社株式を含めておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	36,233		22,659			62.2
28年3月期	36,830		21,338			57.5

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 22,527百万円 28年3月期 21,162百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	32.50	32.50
29年3月期	—	0.00	—		
29年3月期(予想)				35.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	48,000	5.5	4,200	8.2	4,250	7.7	2,650	13.9	132.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 ー社 (社名) 、 除外 ー社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 有
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期3Q	20,118,000 株	28年3月期	20,118,000 株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	149,563 株	28年3月期	156,128 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期3Q	19,966,124 株	28年3月期3Q	19,960,670 株

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数の計算において控除する自己株式に、役員向け株式給付信託として保有する当社株式を含めております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づくレビュー手続の対象外であり、この決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成28年4月1日から平成28年12月31日)におけるわが国経済は、政府の経済対策の効果や海外経済の回復を背景に、個人消費が底堅く推移したほか、企業収益が一部改善に足踏みがみられるものの高い水準で推移したことにより、緩やかな回復基調が続きました。

海外経済は米国大統領選挙の影響等による米国金利の上昇に伴う為替変動などがみられた一方、新興国経済の減速感が和らいでくるなど、全体として堅調に推移しました。

このような状況の中、当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高33,005百万円(前年同期比3.9%増)、営業利益2,809百万円(同5.5%増)、経常利益2,919百万円(同7.7%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,988百万円(同22.1%増)となりました。

事業分野別の状況は次のとおりであります。

#### ① マーケティング支援(消費財・サービス)事業

マーケティング支援(消費財・サービス)事業は、パネル調査及びカスタムリサーチのインターネット調査が堅調に推移したことにより、増収増益となりました。

この結果、マーケティング支援(消費財・サービス)事業の連結業績は、売上高21,284百万円(前年同期比2.9%増)、営業利益1,349百万円(同20.2%増)となりました。

#### ② マーケティング支援(ヘルスケア)事業

マーケティング支援(ヘルスケア)事業は、株式会社アスクレップにおける医薬品の製造販売後調査や、株式会社アンテリオにおけるカスタムリサーチのインターネット調査などが好調に推移したものの、新規事業への投資費用が増加したことにより、増収減益となりました。

この結果、マーケティング支援(ヘルスケア)事業の連結業績は、売上高7,981百万円(前年同期比8.1%増)、営業利益1,265百万円(同3.9%減)となりました。

#### ③ ビジネスインテリジェンス事業

ビジネスインテリジェンス事業は、ヘルスケア及び旅行分野における受注が堅調に推移したものの、AIを活用した新規事業投資の影響などにより、増収減益となりました。

この結果、ビジネスインテリジェンス事業の連結業績は、売上高3,739百万円(前年同期比1.3%増)、営業利益194百万円(同13.0%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ936百万円減少し、23,336百万円となりました。これは、仕掛品が1,904百万円増加したものの、現金及び預金が634百万円、受取手形及び売掛金が1,670百万円減少したことなどによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ340百万円増加し、12,897百万円となりました。これは、建物及び構築物(純額)が118百万円、リース資産(純額)が121百万円、繰延税金資産が118百万円減少したものの、投資有価証券が626百万円、退職給付に係る資産が176百万円増加したことなどによるものです。

この結果、総資産は596百万円減少し、36,233百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ1,889百万円減少し、9,995百万円となりました。これは、買掛金が217百万円、未払法人税等が936百万円、賞与引当金が783百万円減少したことなどによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ27百万円減少し、3,578百万円となりました。これは、退職給付に係る負債が72百万円増加したものの、リース債務が104百万円減少したことなどによるものです。

この結果、負債合計は1,917百万円減少し、13,574百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,321百万円増加し、22,659百万円となりました。これは、為替換算調整勘定が256百万円減少したものの、利益剰余金が1,334百万円、その他有価証券評価差額金が251百万円増加したことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成28年5月12日付「平成28年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」で発表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

※ 業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### (税金費用の計算)

当社及び連結子会社は、税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる会社については、重要な加減算項目を加味し、法定実効税率を使用して計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### (税制改正に係る減価償却方法の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間から適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

#### (税金費用の計算方法の変更)

従来、税金費用については年度決算と同様の方法により計算しておりましたが、第1四半期連結会計期間より連結納税制度を適用したことから、四半期決算に迅速かつ効率的に対応するため、第1四半期連結会計期間より連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法に変更しております。

なお、この変更による四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であるため、遡及適用は行っておりません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,823,074	9,188,446
受取手形及び売掛金	10,640,278	8,969,994
仕掛品	1,240,768	3,144,785
貯蔵品	49,388	85,834
繰延税金資産	1,102,337	1,148,058
その他	1,423,208	805,003
貸倒引当金	△5,529	△5,301
流動資産合計	24,273,526	23,336,822
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,792,241	1,673,657
器具備品(純額)	390,307	336,484
土地	1,998,156	1,998,156
リース資産(純額)	786,053	664,060
その他(純額)	0	0
有形固定資産合計	4,966,758	4,672,357
無形固定資産		
のれん	336,189	275,054
その他	1,520,979	1,482,144
無形固定資産合計	1,857,169	1,757,199
投資その他の資産		
投資有価証券	2,211,178	2,837,217
繰延税金資産	755,102	636,457
退職給付に係る資産	1,296,852	1,473,670
その他	1,469,868	1,520,149
貸倒引当金	△298	—
投資その他の資産合計	5,732,703	6,467,494
固定資産合計	12,556,631	12,897,052
資産合計	36,830,158	36,233,874

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,693,644	2,475,701
短期借入金	2,354,654	2,300,000
リース債務	307,607	279,685
未払法人税等	1,147,603	210,979
賞与引当金	1,640,443	857,028
ポイント引当金	1,113,075	1,191,810
役員賞与引当金	10,500	11,878
株式給付引当金	1,969	—
その他	2,616,366	2,668,856
流動負債合計	11,885,865	9,995,940
固定負債		
長期借入金	200,000	200,000
リース債務	555,935	451,869
株式給付引当金	49,674	48,499
退職給付に係る負債	2,797,218	2,869,225
その他	3,250	8,821
固定負債合計	3,606,078	3,578,415
負債合計	15,491,944	13,574,355
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,681,400	1,681,400
資本剰余金	1,336,688	1,336,599
利益剰余金	17,433,240	18,767,827
自己株式	△216,441	△207,238
株主資本合計	20,234,886	21,578,588
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	284,158	535,471
為替換算調整勘定	464,569	208,005
退職給付に係る調整累計額	179,378	205,101
その他の包括利益累計額合計	928,106	948,579
非支配株主持分	175,220	132,351
純資産合計	21,338,213	22,659,518
負債純資産合計	36,830,158	36,233,874



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	31,754,087	33,005,240
売上原価	23,228,921	23,736,450
売上総利益	8,525,165	9,268,790
販売費及び一般管理費	5,861,025	6,459,121
営業利益	2,664,139	2,809,668
営業外収益		
受取利息	4,359	3,415
受取配当金	35,262	41,413
持分法による投資利益	—	57,150
その他	40,113	56,386
営業外収益合計	79,735	158,366
営業外費用		
支払利息	10,674	20,824
持分法による投資損失	8,170	—
その他	13,406	27,429
営業外費用合計	32,251	48,254
経常利益	2,711,623	2,919,780
特別損失		
関係会社株式評価損	121,483	—
その他	11,297	—
特別損失合計	132,781	—
税金等調整前四半期純利益	2,578,842	2,919,780
法人税等	968,059	975,903
四半期純利益	1,610,782	1,943,876
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△17,249	△44,380
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,628,032	1,988,257

## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	1,610,782	1,943,876
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	133,477	251,312
為替換算調整勘定	△79,797	△279,501
退職給付に係る調整額	2,597	25,723
その他の包括利益合計	56,278	△2,465
四半期包括利益	1,667,061	1,941,411
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,692,248	2,008,730
非支配株主に係る四半期包括利益	△25,186	△67,318

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

	報告セグメント			合計 (千円)
	マーケティング支援 (消費財・サービス) (千円)	マーケティング支援 (ヘルスケア) (千円)	ビジネス インテリジェンス (千円)	
売上高				
外部顧客への売上高	20,676,225	7,385,587	3,692,274	31,754,087
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	20,676,225	7,385,587	3,692,274	31,754,087
セグメント利益	1,122,749	1,317,263	224,126	2,664,139

(注)セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

	報告セグメント			合計 (千円)
	マーケティング支援 (消費財・サービス) (千円)	マーケティング支援 (ヘルスケア) (千円)	ビジネス インテリジェンス (千円)	
売上高				
外部顧客への売上高	21,284,059	7,981,479	3,739,702	33,005,240
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	21,284,059	7,981,479	3,739,702	33,005,240
セグメント利益	1,349,271	1,265,402	194,994	2,809,668

(注)セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。